

News letter こねえあねす

vol. 10

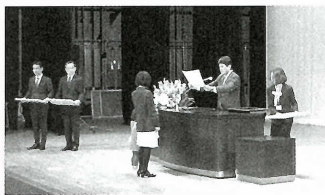
2018.4発行

第10回となる「甲府市男女共同参画フォーラム2018」は、村上信夫さんの講演で地域での男女共同参画について考えました。男女共同参画社会は、男性であること、女性であることに関わらず「人」として平等に暮らしていける社会です。政治、経済、教育、健康、地域、家庭等の社会生活の中で、男女が互いに認め合い、責任を分かち合い協力し、意思決定に参画できる社会を創り上げることが大切です。一人ひとりが考えてみましょう。

甲府市男女共同参画推進委員会 委員長 天野 光江

2018.3.10

甲府市男女共同参画フォーラム2018



女性活躍優良事業者等の表彰



第5期男女共同参画推進委員会活動報告

講演

「嬉しいことばが地域を変える」

村上 信夫さん



壇上から降りて話をされる村上信夫さん



ソングリーダー部
(甲府商業高等学校)

甲府市男女共同参画フォーラム2018によせて

古谷 貴久子

毎年甲府市と共催で行なっている甲府市男女共同参画フォーラムが開催され、市長の挨拶、来賓紹介の後、川柳最優秀作品の表彰がありました。今年度から、甲府市女性活躍推進優良事業者等の表彰が加わり、受賞企業の日本政策金融公庫甲府支店より職場での取り組みも紹介されました。参加者全員で行った甲府市男女共同参画都市宣言の群読、推進委員全員で練習を重ねた活動報告は参画をより一層解りやすく伝えることができたと思います。甲府商業高等学校のソングリーディングは感動!の一言に尽き、客席を巻き込んだパフォーマンスは会場が一体となって元気をもらいました。村上さんの講演で「ことばの大切さ」を学び、心が和み優しい気持ちになりました。

お忙しい中大勢の方々の御来場心より感謝いたします。

- 甲府市男女共同参画フォーラム2018..... 1
- 街頭啓発活動／パープルリボン運動／パネル展..... 2
- 起業ロールモデルセミナー／甲府大好きまつり啓発活動..... 3
- NWECフォーラム2017ワークショップ開催／日本女性会議2017とまこまい..... 4

編集・発行

甲府市男女共同参画推進委員会
〒400-0858 甲府市相生2丁目17-1
TEL.055-237-5209/FAX.055-222-2062



2017.11.13

DV防止週間街頭啓発活動（甲府駅前）

new



甲府市でDV防止基本計画を策定したことから、DV防止の市民意識を高めるために、女性に対する暴力をなくす運動週間(11月12日～25日)に、甲府市とともに甲府駅前前でパンフレット等を配布しました。啓発活動開始前には、パープルリボン運動のシンボルツリーに推進委員全員がパープルリボンをかけ、DV防止の呼びかけを繰り返しながら、800部の啓発パンフレットを配布しました。街頭啓発活動後は、パープルリボンシンボルツリーを市役所1階に設置、甲府市男女共同参画パネル展期間も含めた期間中に356個のリボンが掛かり市民参加の足跡となりました。

2017.11.12～11.25

パープルリボン運動

new

パープルリボン：女性への暴力の根絶を訴えるアウェアネスリボン

パープルリボン運動は1994年にアメリカ合衆国ニューハンプシャー州のベルリンで始まり、日本ではNPO法人全国女性シェルターネットが中心となり、活動を展開している。

活動の一例として2009年11月25日(女性に対する暴力撤廃国際日)の夜に東京タワーを紫色光でライトアップし、被害者に対して一人ではないことを伝え、励ます意図が込められた。



2017.11.27～12.1

第4回パネル展開催（甲府市役所1F）



甲府市男女共同参画推進委員会の活動を知ってもらうことや、男女共同参画の推進を図るためパネル展を開催しました。また、女性の人権を侵害するDV防止の啓発も同時に行いました。

- ★ 甲府市男女共同参画都市宣言文と解説
- ★ 平成29年度川柳入賞作品
- ★ 甲府市男女共同参画推進委員会活動報告
- ★ なくそうDV・デートDVパープルリボンツリー運動 etc…

平日5日間の開催中、206名の方が見てくださいました。夜間、受付が終わってからも見ている方がいたようです。

H29

5月

- 第3次プラン学習会

6月

- 駅前街頭啓発（男女共同参画週間）

7月

- 企業ロールモデルセミナー

8月

- NWE C男女共同参画推進フォーラム2017ワークショップ開催

9月

10月

- 日本女性会とまこまし
- こうふ大姉啓発活動

H29～H30 活動スケジュール





2017.7.12

女性活躍推進講座 起業ロールモデルセミナー

講師にフラワーデザイン「せいかひまわりスタジオ」代表、針井せいかさんと、ネイルサロン「ビーライズ」代表、丸山真弓さんにお話を伺いました。子育てをしながら起業されたお二人のお話に感動し、涙する方もいました。挫折そうになりながらも前を向き未来を見据える強い意志を持った女性像を感じました。講師のお二人も自身の経験がこのような場所で活かされたことを喜んでくださいました。女性活躍推進の講座はこれからも続けていきたいです。



平成29年度 女性の活躍推進講座

起業ロールモデルセミナー

起業のための・はじめの一歩
先輩女性起業家に学ぶ

7月12日(水)
13:30~15:00
場所: 甲府市総合市民会館3階
大会議室 (青沼3-5-44)

自分の持つ経験や知識、資格を活かして仕事ができたいと考えているか、先輩女性起業家が、自分らしく働くために起業した自身の体験を伝え、起業をめざす人たちに寄り添います。

参加無料

講師: 針井 せいかさん
せいか ひまわり すたじお代表
・花葬、植葬、茶花、自然葬推進委員、フラワーアレンジメント講師
・長野県出身、元長野県警察署警務官、山梨県中学校臨時教員を経て、洗米博望後、起業し現在に至る。息子4人。
・フラワーデザインスタジオ アレンジメントスクール、講師育成、その他工場の教室も主宰。

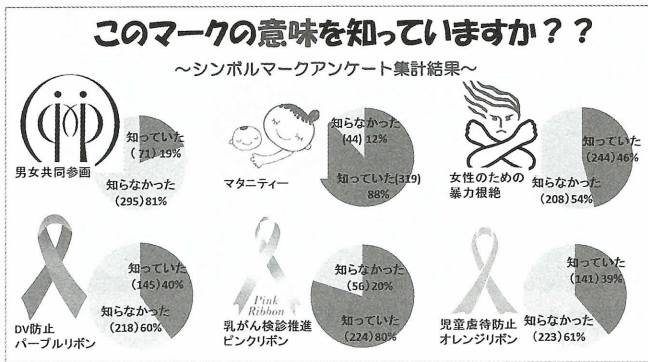
講師: 丸山 真弓さん
ネイルサロン ビーライズ代表
・2004年創業。現在14年目。コンテナビル「国際交流センター」に店舗し、国際交流施設は準店舗。海外展開も目指している。一級ネイリストの資格も取得。息子2人。

主催: 甲府市 / 甲府市男女共同参画推進委員会
お問い合わせ: 甲府市役所 人権男女参画課男女参画係 TEL 2337-5209

2017.10.28

甲府大好きまつり啓発活動 (小瀬スポーツ公園)

毎年行われている甲府大好きまつりにて甲府市男女共同参画推進委員会の周知と男女共同参画推進活動を行うため出展し、啓発をしました。



これらのシンボルマークをご存知ですか?

男女共同参画シンボルマーク、マタニティマーク、女性のための暴力根絶のためのシンボルマーク、DV防止のシンボルマークパープルリボン、乳がん検診推進マークピンクリボン、児童虐待防止のシンボルマークオレンジリボンです。400人にアンケートをした結果、マタニティマーク、ピンクリボンは80%以上が知っているのに対し、パープルリボンは40%、男女共同参画シンボルマークについては19%でした。

また、同時に行ったDVに関するアンケートでは、殴るけるなど身体的な暴力はDVと理解されていますが、「生活費を渡さない」などの経済的暴力や「交友関係を細かくチェックする」などの社会的暴力はDVではないと思っている人が多いことが分かりました。DVは目に見える暴力だけではなく、皆で理解し、なくしていきましょう。

H30

11月

12月

1月

2月

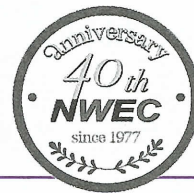
3月

- 駅前街頭啓発 (DV防止週間)
- パネル展

- 川柳作品展
- 甲府市男女共同参画フォーラム2018



2017.8.25 国立女性教育会館NWE Cフォーラム2017



特別講演 変わる勇氣、変えるアクション

～女性も男性もともに暮らしやすい社会を創る～

講師 山口 香

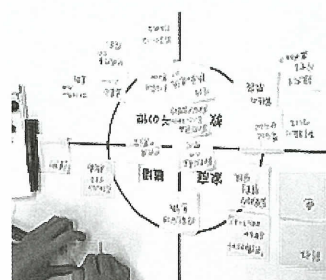
筑波大学体育系准教授、ソウルオリンピック柔道銅メダリスト

今村 清子

小学校1年生から柔道を始め世界でトップを競うアスリートに輝いた山口香氏は独特のパワーとすがすがしく凛とした姿勢で「変わる勇氣変えるアクション」を問題提起していらっしゃいました。目的達成への気概を養い、持ち続ける勇氣が大切で、男性と女性の様々な違いを尊重し、これからの社会を共同で創ることが必要だとご講話下さいました。グローバル時代の中でビジネスにもヒントになり同感です。プレッシャーのかかる環境で、向上心を持ち内面の自分磨きをしたいと思いました。

ワークショップ開催

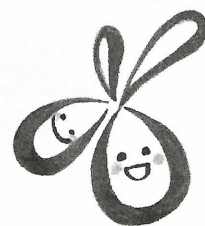
甲府市男女共同参画推進委員会オリジナル物語「ジェンダーに敏感な視点で日常を見る」を推進委員が熱演し、ワークショップに臨みました。全国から集まった参加者の方々がファシリテーターと共に意見を出し合い、大いに盛り上がりました。「自分の昔のことも思い出して、胸に込み上げるものがあった」「年代や場所が違くとジェンダーについての考えも色々あると感じた」



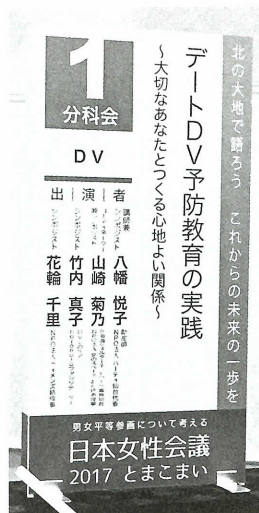
付箋に書いた意見をグループ分けしている様子

「現場はまだまだ闇や課題が深いと知った」といった意見が出され、終了後は「また甲府市のワークショップには必ず参加したいです!」と仰る学生さんもいました。

2017.10.13～10.15 日本女性会議2017 とまこまい

第1分科会(DV)シンポジウム
デートDV予防教育の実践

中村 京子



シンポジウムではDV被害者が日々殺されている実情、DV被害を受けつつ生き延びた人々もDV被害の連鎖を生んでしまうこと、その被害の芽は中高生の頃、異性とのお付き合いの中で生まれてきていること、中学生、高校生、大学生とそれぞれの成長の度合いに応じて学校教育の場で何がDVにあたるのかについて、繰り返し啓蒙していく事の重要性やDVの被害者の方々を受け入れる体制づくりの大切さなど、熱のこもった話が繰り広げられました。北海道には7箇所のシェルターがあると聞き、北海道に比べて小さな山梨とはいえ、機能しているシェルターの数が足りているのか心配になりました。苫小牧市内の中学校の大多数がデートDVに関する教育を民間団体の力を借りて行っているという話に感心しました。甲府市の実情はどうなのでしょう。

第5期の活動報告は甲府市HPに掲載されています。

甲府市HP <らし> → 人権・男女参画 → 甲府市男女共同参画推進委員会の活動

編集
後記

今年度は、2～3ページにNEWと表記された新たな取り組みも多く、前向きにより深く学び地域に還元していきたいという委員の意欲が表現できるよう活動報告を編集しました。ご覧になる皆さんにとって、性別年齢障がいの有無に関わらず一人一人が力を発揮できる社会を目指すきっかけとなれば幸いです。